

⑥ 公開実用新案公報(U)

昭60-183896

⑦ Int. Cl.⁴

G 04 G 1/00
G 01 C 13/00

識別記号

庁内整理番号

H-6533-2F
7119-2F

⑧ 公開 昭和60年(1985)12月6日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑨ 考案の名称 水深計付携帯電子機器

⑩ 実 願 昭59-71140

⑪ 出 願 昭59(1984)5月16日

⑫ 考 案 者 興 石 修 西訪市大和3丁目3番5号 株式会社諏訪精工舎内

⑬ 出 願 人 株式会社諏訪精工舎 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

⑭ 代 理 人 弁理士 最 上 務

⑮ 実用新案登録請求の範囲

少なくとも、水深値を電気信号に変換する水深検知センサー、前記水深検知センサーを駆動するためのセンサー駆動回路、水深検知センサーからの電気信号を所望の計測信号に変換する信号処理回路、信号処理回路からの信号を基に、水深値を表示する表示部、電源、電源と上記、水深検知センサー、センサー駆動回路、信号処理回路との電気的導通をとるためのスイッチ、上記要素を外周からおおうケース、表示部の上方に位置し、前記ケースと一体に組み込まれたカバーガラスにより構成される水深計付携帯電子機器において、上記カバーガラス裏面に少なくとも1つ形成された透明電極と、この透明電極に、水又は海水が接触していることを検出する検出回路、前記透明電極と前記検出回路との電機接続をするための導電部材より成るサブスイッチ、上記スイッチと、前記サブスイッチからの信号をもとに、水深計測機能を制御する制御手段とを設けたことを特徴とする水深計付携帯電子機器。

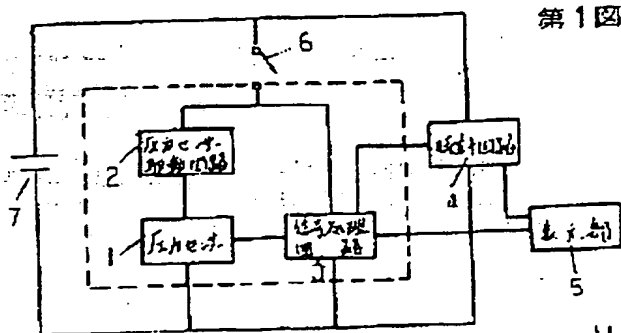
図面の簡単な説明

第1図…水深計測機能付時計の構成を示したブロック図、第2図…本考案の一実施例の断面構造を示した図、第3図…カバーガラス裏面に形成さ

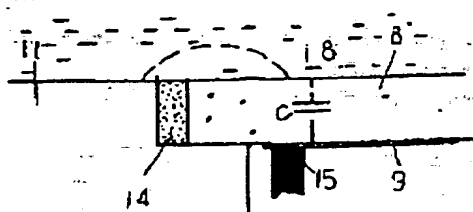
れた透明電極とカバーガラス表面を両極とし、ガラスを透電物質として発生する容量Cを示した図、第4図…第2図に示す本考案の一実施例の回路構成を、スイッチ回路回りについて示した図、第5図…第4図に示した回路のタイミングチャートを示した図。

ここに、1……圧力センサー、2……圧力センサー駆動回路、3……信号処理回路、4……時計回路、5……表示部、6……メインスイッチ、7……電源、8……カバーガラス、9……透明電極、10……ムーブメント、11……外装金属ケース、12……表示部、13……接点パネ、14……絶縁部材、15……導電部材、16……裏布タ、17……バツキン、18……水又は海水、19……発生容量C、20……チャタリング防止回路、21……インバータ、22……インバータ、23……インバータ、24……NOR、25……D-フリップフロップ、26……D-フリップフロップ、27……S-Rフリップフロップ、28……クロック信号、29……ANDゲート、30……Nチャンネルトランジスタ、31……インバータ、32……Nチャンネルトランジスタ、33……水深計測回路。

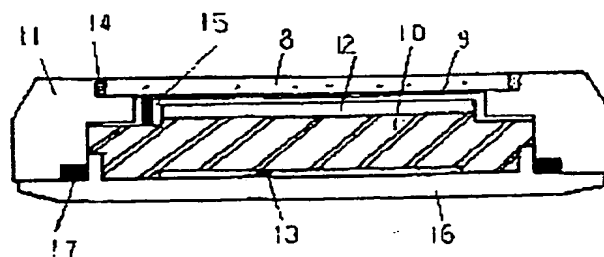
第1図



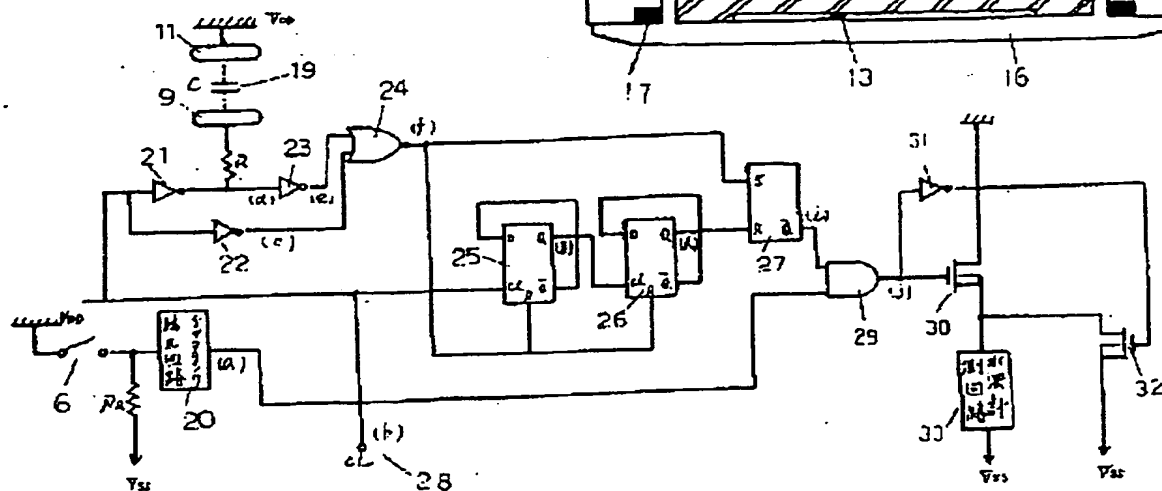
第3図



第2図



第4図



第5図

